

防災総合訓練

平成30年12月2日(日)8:50~12:30 蓮池小学校(グランド・体育館)

《避難訓練》

播磨町近辺では、山崎断層帯地震や南海トラフ巨大地震の恐れがあり、今回は震度6強の地震が8時50分に発生し、津波はこの地域まで達しない想定で防災総合訓練を行いました。各自治会から数名の参加者を事前に募り、各自治会の一時避難所に集合安全確認後、家屋に倒壊もしくは安全が担保されない状況がある避難者を蓮池小学校まで避難させ、避難所の解説を行う訓練をまず行った。蓮池小学校では、9時に避難所を開設した。各自治会から次第に集まってきた避難者は受付を済ませ、自治会ごとに整列してもらった。9時28分には全自治会が集合完了しました。明石のある自治会からも見学に来られた。



《開会式》

藤原委員長の挨拶の後、武岡運営副委員長から訓練内容の説明があり、播磨町危機管理Gの日野統括より避難所運営訓練の説明がありました。あらかじめ2つの班に分け、避難所開設訓練として体育館のレイアウトを行う班と資機材搬出訓練と言うことで資機材の倉庫見学と炊き出しの様子の見学を行う班で訓練を始めた。



《避難所開設訓練》

避難所開設訓練とは、避難所となる体育館を本部や救護所、資機材置き場、地域ごとの居住区域などに分けるよう、体育館の中をレイアウトし、赤く示した土足で通れるところをシートで作る訓練です。訓練の意義を学び実際にやってみるとあっという間に時間が過ぎていきました。



《資機材の倉庫見学》

体育館の裏に資機材倉庫があります。その中に何が入っているのか。その説明をしていただきました。大きな鍋や非常食、毛布などがたくさん備蓄されていました。非常用のトイレなども入っていました。



10時20分頃から班別の訓練を行いました。ABCDの4つの班に分け、初期消火訓練・搬送訓練・救急訓練・防災資機材取り扱い訓練の4つを15分ずつ実施しました。

《初期消火訓練》

震災の2時災害で恐ろしいのが火災です。火事を出さないためには、初期消火が効果的だと言われています。理由は道路が麻痺して消防自動車がすぐには来ないと言うことと同時にたくさんのところで火事が起こるからです。自分たちで火事を起こさないために水消火器で消火訓練しておくことと消火器の使い方に慣れていざというときに役に立ちます。この頃は各自治会でもしている訓練なので手慣れたものでした。



《搬送訓練》

物干し竿と毛布を使って簡易担架を作って、6人で運ぶ訓練です。準備で事前に試しにやったとき、2人で運ぼうとすると物干し竿が真ん中で折れてしまったので、しっかり真ん中を支えて折れないように少なくとも4人の息を合わせて膝を曲げて声を合わせて持ち上げました。腰を痛めないことも大切な訓練です。



《救急訓練》

日本赤十字社の指導員の指導の下、心肺蘇生法とAEDの使い方の研修を行いました。練習用の人形を10体、AEDを10セット持ってきてくださったので全員がしっかり練習できました。参加者が大変積極的に練習していましたので時間がかかってしまいました。でもこんな時にしかできないことなのでしっかり研修できて良かったと思います。



《防災資材機材取り扱い訓練》

事前に防災資材倉庫にある仮設トイレを組み立てたものを見学しながらその使い方の説明を聞いた
り、実際に簡易トイレを組み立ててその使い方を学習したりしました。災害が起きたときこんなことも考
えなければいけないことが分かりました。



《炊き出し訓練》

体育館の前で炊き出し訓練を行いました。9時ぐらいから事前に資材を準備したり、10時からお湯を
沸かしたりしながら準備しました。アルファ化米は水を入れてかき混ぜた後、一時間待ちます。豚汁は
大鍋で沸かしたお湯を別の鍋に小分けし、そこへ豚汁のドライフードを入れ発泡スチロールの容器によ
そってそれを配りました。班別訓練の合間に見学をしたり、配りやすいように班ごとにセットしたり、準
備も大変です。

班別研修を終えた班から順に試食をしました。アルファ化米は温かくないのですが、豚汁が温かくと
てもおいしかったです。



《閉会式》

12時頃、無事非常食の試食も終えて閉会式を実施しました。危機管理Gの
日野統括からは、初めての取組でしたが、皆さんが真剣に取り組んでくだ
さったことや継続して取り組むことによって近い将来に起きる災害に対処する
力を身につけていけることを教えてくださいました。ここまで成功できたの
は、野添連合自治会の自主防災の組織の代表の方々をはじめ、参加者の皆
さん、ボランティアに参加してくださった女性部・消防団・播磨町の皆様感謝
します。今後とも地域の繋がりを深め、安全な地域作りを進めていきましょ
う。

